



長春理工大学

Changchun University of Science and Technology

●学部学生 約15,000人 ●大学院生 約3,500人 ●教職員 約2,000人 ●留学生 約100人
 ホームページ <http://www.cust.edu.cn/>

交流協定締結年月日：2012年1月16日

主管学部：工学部



長春理工大学キャンパス風景

国際交流の特色

長春理工大学は、1958年に設立された中国有数の総合大学であり、10の学院がある。学部の専門分野は47、修士課程と博士課程の専門分野は55あり、学生数は約2万人（学部生約1.5万人・大学院生約3.5千人）を有する。10カ国以上から留学生を受け入れ、国際的にも開かれた大学であり、70以上の外国の大学および研究機関と学術交流を行っている。長春理工大学は、中華人民共和国の東北地方にある吉林省長春市に位置し、上海から飛行機で約2時間半、北京から飛行機で約1時間半である。

交流実績（平成26年度～28年度）

年度	H26年度	H27年度	H28年度
受入・派遣			
学生の受入	0	3	2
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	2	3	3
研究者・職員の派遣	3	3	4



教員からの声

長春理工大学とは、2012年1月16日に全学協定を締結したばかりであるが、教職員の交流および国際会議の共催、国際共同研究の実施を活発に行っている。2009年9月20～22日に長春理工大学にて開催された 2nd Joint Student Workshop on Mechatronics (2nd JSWM, 香川大学国際交流基金の協定校の訪問事業)に香川大学から教員2名、大学院生3名が参加した。また、これまでに長春理工大学から推薦頂いた8名の学生を工学研究科の大学院生として受け入れた。高松にてIEEE ICMA 2013を共同開催した。今後も両大学間の研究教育交流が良い成果を得られることを期待している。

工学部教授 郭 書祥

学生からの声

私は平成23年10月に研究者として香川大学にやって来た。郭研究室で球型水中ロボットシステムに関する研究を行っている。研究室の環境は良く、先生は厳しくもあり、優しくもある。以前の僕には想像もつかなかったが、研究室の人は毎日一生懸命研究を行っている。これまで約2年間過ごしてきて、日本の生活や研究に慣れてきて、いろいろと勉強になった。これからも頑張りたいと思う。将来は帰国して、大学の先生になろうと考えており、日本と中国の交流に貢献したいと思う。

元留学生（工学研究科 博士後期課程）岳 春峰
 （平成26年3月博士学位を修 得し帰国。ポスドクとして研究を続けている）